

平成 28 年 3 月 28 日
株式会社日本政策金融公庫

地域金融機関CLOを5年ぶりに発行

～地域金融機関との連携により、中小企業者向け無担保資金供給の円滑化を支援～

3月28日、日本政策金融公庫（略称：日本公庫）中小企業事業は、地域経済活性化の担い手となる中小企業者に対する無担保資金を裏付けとするCLO（貸付債権担保証券）を発行しました。本CLOは地域金融機関、日本公庫及び機関投資家による証券化手法を活用した連携商品です。組成規模は貸付債権額ベースで121.67億円（前回33.16億円）、CLO発行額ベースで118.39億円（前回26.55億円）と、平成23年3月実施の前回案件を大きく上回る規模となっています。今回のCLO組成は市場環境の改善等を契機としたもので、平成23年3月以来、5年ぶりの組成となります。

<証券化支援業務>

日本公庫中小企業事業は、平成16年（当時、中小企業金融公庫）から中小企業者向け無担保資金供給の円滑化等を目的に証券化支援業務を開始して以降、CLO等の組成を行っています（過去の実績22回）。

<組成環境の推移>

近年はリーマンショック等を背景として証券化商品に対する投資家ニーズが減退した一方で、東日本大震災の発生により信用保証制度が拡充されるなど中小企業者のCLOを活用した資金調達ニーズも大きく低下したことから、平成23年度以降は組成を行うことが困難な状況が続きました。この間、日本公庫は中小企業CLO市場を再整備すべく、平成26年度に外部有識者検討会を設置しスキームの改善等に取り組んできました。このような施策に加え、足元では信用保証制度の平時への移行に伴い、CLOを活用した資金調達ニーズが再び高まってきたこと、また相応の運用利回りを確保できる投資商品として投資家に戻りつつあること等も追い風となり、今回の組成再開となりました。

<今回のCLO（シンセティック型）の概要>

- ◆CLO発行日：平成28年3月28日
- ◆発行会社：合同会社クローバー2016
- ◆当初貸付債権総額：121.67億円
- ◆債権数：525件
- ◆地域金融機関：清水銀行、東日本銀行、西武信用金庫、諏訪信用金庫、富山信用金庫、金沢信用金庫、大阪信用金庫、米子信用金庫、長野県信用組合
- ◆A号社債：60億円（Aaa）、利率「3ヵ月TIBOR+0.41%」、機関投資家が購入
- ◆B号社債：43.39億円（Baa1）、利率は非公表、日本公庫が購入
- ◆C号社債：15億円（A1）、利率「3ヵ月TIBOR+0.32%」、機関投資家が購入
(C号社債は日本公庫が元利金を全額保証)

<スキーム図>

